

▼最優秀賞受賞作品（俳句）

浦日和

大野信子

橋あれば橋を潜りて初燕

春浅き湖に一点漁り舟

尾を打ちて厨はなやぐ桜鯛

出漁の船を見送る小判草

浦日和種を蒔く如白子干す

上げ潮に鯉のよく飛ぶ浦日和

うららかや島の鴉も路地闊歩

欄干の鉦までゆるぶ大暑かな

潮騒に眠る漁村や盆の月

伊勢湾は一枚晴れや年明くる

▼最優秀賞受賞作品（川柳）

冬支度

塚山繁

てっぺんに立つとブレーキ甘くなる

躓きを支援している早合点

年寄りと言われ悔しい歳になる

我慢我慢好かれる爺になる為

ここという時にお世辞がでてこない

年金の暮らしに縁のない賞与

物忘れ餌もやらぬがよく育つ

物忘れお互いさまと目で笑う

越えてから見れば意外と低い壁

冬支度せよと日暮れが早くなる